



新型 E クラス(セダン/ステーションワゴン)を発売

- ・ 世界で初めて成層燃焼リーンバーンとターボチャージャー、排ガス再循環装置を組み合わせた新開発2.0リッター直列4気筒^{ブルーダイレクト}BlueDIRECTターボエンジンを採用
- ・ 大幅に動力性能が向上した新型3.0リッターV型6気筒BlueTECエンジン、新開発3.5リッターV型6気筒BlueDIRECTハイブリッドシステム搭載モデルを導入
- ・ 大幅に進化した安全運転支援システム「レーダーセーフティパッケージ」を標準装備*
- ・ 世界最速セダン「E 63 AMG S 4MATIC」をはじめ、AMG モデルラインアップを拡充
- ・ 装備の充実とパワートレインの刷新にもかかわらず価格は据え置き

*E250 はオプション装備

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:上野金太郎、本社:東京都港区)は、メルセデスを代表する中核モデル「E クラス(セダン/ステーションワゴン)」に、最新世代のパワートレインを採用して動力性能と燃費経済性、環境性能を大幅に向上するとともに、最先端の安全・快適装備の充実およびモデルラインアップの追加を実施し、本日より全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じ発売いたします。

メルセデス・ベンツEクラスは、世界で累計1,200万台以上の販売台数を誇るメルセデス・ベンツの中核をなすモデルであり、1947年に発表されたW136/191型以来、常に時代に先駆けて革新的な技術を採用入れ、世界のプレミアムセダンの指標とされてきました。

今回の新型Eクラスは、内外装のデザインのみならず、パワートレインや安全装備など計2,000箇所以上におよぶ変更を行い、あらゆる面で劇的な進化を遂げました。

LEDハイパフォーマンスヘッドライトや新型フロントグリルなど先進的でダイナミックな印象を高める新世代のメルセデスデザインを採用してエクステリアを一新するとともに、最新鋭の直噴ガソリンエンジン/クリーンディーゼル/ハイブリッドのパワートレイン、大幅に進化を遂げた安全運転支援システム「レーダーセーフティパッケージ」を搭載しています。また、0-100km/h加速3.6秒*を誇る世界最速セダン「E 63 AMG S 4MATIC」をはじめ、圧倒的なパフォーマンスと走行性能を両立したAMGモデルのラインナップを拡充しました。*欧州参考値

このように大幅な変更を実現しながら、メーカー希望小売価格は従来モデルから据え置きといたしました。

Eクラス(セダン/ステーションワゴン) 主な変更点

パワートレイン

新開発2.0リッター直列4気筒BlueDIRECTターボエンジン

「E 250(セダン/ステーションワゴン)」、「E 250 アバンギャルド(セダン/ステーションワゴン)」に搭載される新開発2.0リッター直列4気筒BlueDIRECTターボエンジンは、世界で初めて成層燃焼リーンバーンとターボチャージャー、排ガス再循環装置(EGR)の組み合わせを実現しました。最新燃焼制御テクノロジーに加え、ECOスタートストップ機能(アイドリングストップ機能)を採用し、従来モデルに比べパフォーマンスと燃費をいずれも向上させました。最高出力211PS/155kW(従来モデル比+7PS/+5kW)、最大トルク350Nm(従来モデル比+40Nm)、燃費は15.5km/L(JC08モード)と従来モデルに比べ約23%向上しています。また、「平成21年排出ガス基準75%低減レベル(☆☆☆☆)」を取得するとともに、「平成27年燃費基準+20%」を達成し、新エコカー減税(重量税、取得税 免税)および自動車グリーン税制優遇措置(翌年度自動車税50%減税)の優遇を受けることができます。

新型3.0リッターV型6気筒BlueTECエンジン

「E 350 BlueTEC アバンギャルド(セダン/ステーションワゴン)」に搭載される新型3.0リッターV型6気筒BlueTECエンジンは、最高出力252PS/185kW(従来モデル比+41PS/+30kW)、最大トルク620Nm(従来モデル比+80Nm)と大幅にパフォーマンスを向上するとともに、ECOスタートストップ機能の追加、エンジンマネジメントの最適化により、燃費経済性も改善した最先端のクリーンなディーゼルエンジンです。*数値は全て欧州参考値

新開発3.5リッターV型6気筒BlueDIRECTハイブリッドシステム

Eクラスとして初のハイブリッドモデルとなる「E 400 HYBRID アバンギャルド」に搭載されるハイブリッドシステムは、最新世代3.5リッターV型6気筒BlueDIRECTエンジンと高性能電気モーターを組み合わせ、最高出力306PS/225kW、最大トルク370Nmのゆとりある動力性能を発揮。メルセデスのハイブリッドとしては第二世代となる最新のシステムを採用することで、燃費は15.2km/L(JC08モード)とクラス最高水準の環境性能を誇ります。最高35km/hまで電気モーターのみで走行することが可能です。

「E 400 HYBRID アバンギャルド」は、「平成17年排出ガス基準75%低減レベル(☆☆☆☆)」を取得するとともに、「平成27年燃費基準+20%」を達成し、新エコカー減税(重量税、取得税 免税)および自動車グリーン税制優遇措置(翌年度自動車税50%減税)の優遇を受けることができます。

安全性と快適性が融合した先進のドライバー支援システム「インテリジェントドライブ」

新型Eクラスには、次期Sクラスに搭載予定の次世代のシステムの多くを先駆けて採用しています。安全運転支援システム「レーダーセーフティパッケージ (Radar Safety Package, RSP)」のさらなる進化に加え、ドライバーを支援するさまざまな機能装備を組み合わせることで、安全性と快適性を高次元で融合しました。メルセデス・ベンツではこれらのドライバー支援システムを総称して「インテリジェントドライブ」と呼んでいます。

進化した安全運転支援システム「レーダーセーフティパッケージ」

従来の短距離/中長距離ミリ波レーダーに、ステレオマルチパーパスカメラ (SMPC) とマルチモードミリ波レーダー (後方) を新たに追加することで、レーダーセーフティパッケージに新たな機能を加えました。

先行車が停止した場合に減速して停止する渋滞追従機能を備えた「ディストロニック・プラス」にステアリングアシスト機能を追加。ステレオマルチパーパスカメラが車線カーブと先行車両をモニターすることで、車間距離を維持しながらステアリング操作のアシストを行います。さらに、衝突回避をサポートするBAS (ブレーキ・アシスト・システム) プラスに飛び出し検知機能が加えられ、前方を横切るクルマや歩行者の飛び出しを捉えてディスプレイと音で警告します。ドライバーが警告に反応しない場合はPRE-SAFE[®]ブレーキの警告ブレーキと自動緊急ブレーキが段階的に作動します。また、リアバンパーに設置されたマルチモードミリ波レーダーが後方からの衝突の危険を検知すると後続車のドライバーにリアコンビネーションランプを点滅させることで警告するとともにブレーキ圧を高めて自車をロックし二次被害を軽減するリアCPA (被害軽減ブレーキ付後方衝突警告システム) を新たに装備しました。

ドライバーを支援するその他のシステム

対向車や前方車など他の車両にハイビームが当たらないように自動的に照射範囲を制御し、常に最大限の視界を確保する「アダプティブハイビームアシスト・プラス」、縦列および並列駐車の際に最適な駐車スペースを自動検出し、自動でステアリング操作とブレーキ制御を行う「アクティブパーキングアシスト」を全車に標準装備しています。

また、真上から自車を見下ろすように俯瞰する映像で周囲の状況を把握できる「360°カメラシステム」を全車にオプション設定しています。

デザイン

エクステリアデザインにおいては、Eクラスのトレードマークにもなっている4灯ヘッドライトを最新のデザイン手法でLEDハイパフォーマンスヘッドライトとして再現し、中央に大型のスリーポイントスターを配したフロントグリル*とあいまって、先進的なフロントマスクを印象づけています。リアビューは水平基調のスポーティなリアバンパーと2本のキャラクターライン、洗練された新デザインのLEDリアコンビネーションランプにより、ダイナミックな印象を高めています。*E 250を除く

インテリアには、質感の高いレザー素材、パワーシートスイッチやエアアウトレットなど随所にあしらわれたシャドウシルバーといった厳選された素材を採用することで、より上質で贅沢な室内空間を提供します。

世界最速セダン「E 63 AMG S 4MATIC」をはじめとする AMG モデルラインアップの拡充

E 63 AMG 4MATIC (セダン/ステーションワゴン)

「E 63 AMG 4MATIC (セダン/ステーションワゴン)」は、メルセデス AMG 社が新たに開発したパフォーマンス志向四輪駆動機構「AMG 4MATIC」を搭載し、スポーツ走行時のトラクション性能を大幅に向上しました。

「AMG 4MATIC」は、高性能エンジンのハイパワーを四輪へ効果的に配分し、常に最適なトラクション性能を発揮します。トルク配分を後輪重視の 33:67 とし、ロッキングトルクを低めに設定することで、高速走行時のコーナリングやコーナー立ち上がりなど、走行時のいかなる状況においても高い操縦性と圧倒的な加速を実現しています。さらに、AMG 4MATIC 専用開発された「3 ステージ ESP®」のトルクベクトリングブレーキ機能により、四輪駆動モデル特有のアンダーステアを検知した場合、個々のホイールのブレーキ制御を行って各輪へのトルク配分を最適化し、常に正確な車両姿勢を維持します。

E 63 AMG S (セダンのみ)

「AMG S-Model」は、パフォーマンスを強化するオプションとしてこれまで設定されていた「AMG パフォーマンスパッケージ」を超える圧倒的な動力性能を実現したモデルです。

「E 63 AMG S」は、メルセデス AMG 社開発による最新鋭 5.5 リッターV型 8気筒直噴ツインターボエンジンに専用チューニングを施し、最高出力 585PS/430kW(ベースモデル比+28PS/+20kW)、最大トルク 800Nm(ベースモデル比+80Nm)にまで大幅にパフォーマンスを向上させています。さらに「AMG リミテッド・スリッパ・デフ」によりいっそう優れたトラクション

性能を実現し、スラローム走行や高速でのレーンチェンジ時の挙動をいっそう安定させ
ます。*数値は全て欧州参考値 Page 5

エクステリアには、S モデル専用装備として、カーボンパーツを随所に配した「AMG カーボンパッケージ」、専用デザインのマットチタニウムグレーペイント 19 インチ AMG10 スポークアルミホイール、AMG レッドブレーキ・キャリパーなどが採用されています。インテリアには、グリップ部にアルカンターラ®を採用した AMG パフォーマンスステアリングや AMG カーボンインテリアトリムなどを装備し、E 63 AMG 最高峰のモデルであることを強調しています。

E 63 AMG S 4MATIC(セダン/ステーションワゴン)

「E 63 AMG S 4MATIC」は、AMG S-ModelとAMG 4MATICを組み合わせたトップパフォーマンスモデルです。専用チューニングによってクラストップレベルにまで引き上げられた出力/トルクを、新開発された前後トルク配分 33:67 のAMG 4MATICが確実に路面へ伝えます。これにより、「E 63 AMG S 4MATIC」は、0-100km/h加速わずか3.6秒^{*}と、セダンモデルとして世界最速のハイパフォーマンスを誇ります。*欧州参考値

なお、今回のEクラス(セダン/ステーションワゴン)には、新しく内容を充実させたアフターサービスプログラムが適用されます。新車購入から3年間走行距離無制限の無償修理・無償メンテナンスと24時間ツーリングサポートを提供する総合保証「メルセデス・ケア」に「新車6ヶ月点検」を追加、さらに有償の保証延長プログラムの適用範囲を拡大しています。メルセデス・ケア終了後の有償保証延長プログラムには、一般保証および24時間ツーリングサポートを2年間延長する「保証プラス」に加えて、4、5年目のメンテナンスにおいて、初回車検時および4年目の点検や定期交換部品、消耗部品の交換をパッケージでご提供する「メンテナンス プラス^{*}」をご用意しています。

*AMGモデルは適用対象外になります。

新しい購入方法として、「保証プラス」および「メンテナンスプラス」と 3.90%オープンエンドリース(5年タイプ)^{*}を組み合わせた月々定額 99,120 円からのファイナンスプログラム「まるごとプラン」をご用意いたしました。手軽なローンに、初回車検を含むメンテナンス費用などが組み込まれ、5年間安心してメルセデス・ライフをお楽しみいただくことができます。

*メルセデス・ベンツ・ファイナンス(株)のご利用が必要です。価格及びファイナンスプランの金利は予告なく変更することがあります。

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

Page 6

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格 ()内は消費税抜き車両本体価格
E 250	右	2.0L、 直列 4 気筒 直噴ターボ	¥5,950,000 (¥5,666,667)
E 250 アバンギャルド	右	2.0L、 直列 4 気筒 直噴ターボ	¥6,550,000 (¥6,238,096)
E 300 アバンギャルド	右	3.5L、 直噴 V6	¥7,200,000 (¥6,857,143)
E 300 4MATIC アバンギャルド	左	3.5L、 直噴 V6	¥7,500,000 (¥7,142,858)
E 350 BlueTEC アバンギャルド	右	3.0L、V6 ディーゼル	¥7,980,000 (¥7,600,000)
E 350 アバンギャルド	右	3.5L、 直噴 V6	¥8,720,000 (¥8,304,762)
E 400 HYBRID アバンギャルド	左	3.5L V6 直 噴+ハイブリ ッド	¥8,900,000 (¥8,476,191)
E 550 アバンギャルド	右	4.7L、V8 直噴ツイン ターボ	¥11,200,000 (¥10,666,667)
E 63 AMG	右	5.5L、V8 直噴ツイン ターボ	¥14,950,000 (¥14,238,096)
E 63 AMG 4MATIC	左	5.5L、V8 直噴ツイン ターボ	¥15,200,000 (¥14,476,191)
E 63 AMG S	右	5.5L、V8 直噴ツイン ターボ	¥17,500,000 (¥16,666,667)
E 63 AMG S 4MATIC	左	5.5L、V8 直噴ツイン ターボ	¥17,800,000 (¥16,952,381)
E 250 ステーションワゴン	右	2.0L、 直列 4 気筒 直噴ターボ	¥6,300,000 (¥6,000,000)
E 250 ステーションワゴン アバンギャルド	右	2.0L、 直列 4 気筒 直噴ターボ	¥6,900,000 (¥6,571,429)
E 300 ステーションワゴン アバンギャルド	右	3.5L、 直噴 V6	¥7,550,000 (¥7,190,477)
E 300 4MATIC ステーションワゴン アバンギャルド	左	3.5L、 直噴 V6	¥7,850,000 (¥7,476,191)

E 350 BlueTEC ステーションワゴン アバンギャルド	右	3.0L、V6 ディーゼル	¥8,330,000 (¥7,933,334)
E 350 ステーションワゴン アバンギャルド	右	3.5L、 直噴 V6	¥9,070,000 (¥8,638,096)
E 550 ステーションワゴン アバンギャルド	右	4.7L、V8 直噴ツイン ターボ	¥11,550,000 (¥11,000,000)
E 63 AMG 4MATIC ステーションワゴン	左	5.5L、V8 直噴ツイン ターボ	¥15,570,000 (¥14,828,572)
E 63 AMG S 4MATIC ステーションワゴン	左	5.5L、V8 直噴ツイン ターボ	¥18,170,000 (¥17,304,762)

* 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。



E 250 AVANTGARDE

製品特徴

エクステリア

フロントデザイン

メインビーム、ポジショニングライト、ウインカー、コーナリングライトのすべてのライトに LED を使用し、全機能を 1 枚のレンズでカバーする LED ハイパフォーマンスヘッドライトを E クラスとして初めて採用しました。このヘッドライトは内部の照明装置を流れるように配置することで、E クラスのトレードマークになっている 4 灯ヘッドライトを新たな形で再現しています。また、すべてのモデル^{*}に、中央に大型のスリーポイントスターを配したフロントグリルを採用し、スポーティな個性を強調しています。^{*}E 250(セダン/ステーションワゴン)を除く

サイドデザイン

セダン、ステーションワゴンとも 2 本のキャラクターラインが伸びやかなサイドビューを演出しています。

リアデザイン

水平基調のラインがバンパー全体を横断するようにデザインされ、ブラックとクロームからなるディフューザーと大型化されたエグゾーストエンドとともに、リアエンドのワイド感を強調しています。また、洗練された新デザインの LED リアコンビネーションランプにより、ダイナミックな印象を高めています。

インテリア

パワーシートスイッチやエアアウトレット、インテリアトリム、ステアリングなど随所にシャドウシルバーのインサートを配し、質感を大幅に向上させました。ダッシュボードやドアパネルにはよりきめが細かく上質な風合いのシボ加工を施し、スポーティで上質な室内空間を演出しています。

また、アナログクロックをダッシュボード中央に装備したことで、燃料系/水温計はシャドウシルバーのトリムをあしらったメーターパネル左側に移行し、上質感を高めながらも視認性を向上しています。

パワートレイン

新開発2.0リッター直列4気筒BlueDIRECTターボエンジン

「E 250(セダン/ステーションワゴン)」、「E 250 アバンギャルド(セダン/ステーションワゴン)」に搭載される新開発2.0リッター直列4気筒BlueDIRECTターボエンジンは、世界で初めて成層燃焼リーンバーンとターボチャージャー、排ガス再循環装置(EGR)の組み合わせを実現しました。第三世代の直噴システムである「BlueDIRECTテクノロジー」を採用し、エンジン負荷をモニターすることで、成層燃焼と理論空燃比による均質燃焼、さらに成層燃焼と均質燃焼を組み合わせた均質成層燃焼の各燃焼モードを自動的に制御し、常に最適な燃焼方法を自動的に選択します。最新燃焼制御テクノロジーに加え、ECOスタートストップ機能(アイドリングストップ機能)を採用し、従来モデルに比べパフォーマンスと燃費をいずれも向上させました。最高出力は211PS/155kW(従来モデル比+7PS/+5kW)、最大トルク350Nm(従来モデル比+40Nm)、燃費は従来モデルに比べ約23%向上しています。また、「平成21年排出ガス基準75%低減レベル(☆☆☆☆)」を取得するとともに、「平成27年燃費基準+20%」を達成し、新エコカー減税(重量税、取得税 免税)および自動車グリーン税制優遇措置(翌年度自動車税50%減税)の優遇を受けることができます。

新開発3.0リッター V型6気筒BlueTECエンジン

「E 350 BlueTEC アバンギャルド(セダン/ステーションワゴン)」に搭載される新開発3.0リッターV型6気筒BlueTECエンジンは、最高出力252PS/185kW(従来モデル比+41PS/+30kW)、最大トルク620Nm(従来モデル比+80Nm)と大幅にパフォーマンスを向上するとともに、ECOスタートストップ機能の追加、エンジンマネジメントの最適化により、燃費経済性も改善した最先端のクリーンなディーゼルエンジンです。*数値は全て欧州参考値

新開発3.5リッターV型6気筒BlueDIRECTハイブリッドシステム

Eクラスとして初のハイブリッドモデルとなる「E 400 HYBRID アバンギャルド」に搭載されるハイブリッドシステムは、最新世代3.5リッターV型6気筒BlueDIRECTエンジンと高性能電気モーターを組み合わせ、最高出力306PS/225kW、最大トルク370Nmのゆとりある動力性能を発揮。メルセデスのハイブリッドとしては第二世代となる最新のシステムを採用することで、燃費は15.2km/L(JC08モード)とクラス最高水準の環境性能を誇ります。最高35km/hまで電気モーターのみで走行することが可能です。なお、減速時の回生ブレーキ機能やモーターアシストによるブースト機能など、ハイブリッドシステムの状態はエネルギーフローディスプレイに表示され、リアルタイムでモニターすることが可能となります。

また、ハイブリッドモデルでありながらガソリンモデルと同レベルのトランクスペースを確保し、高い実用性も備えています。

なお、「E 400 HYBRID アバンギャルド」は、「平成17年排出ガス基準75%低減レベル(☆☆☆☆)」を取得するとともに、「平成27年燃費基準+20%」を達成し、新エコカー減税(重量税、取得税 免税)および自動車グリーン税制優遇措置(翌年度自動車税50%減税)の優遇をうけることができます。

セーフティ&コンフォート

安全性と快適性が融合した先進のドライバー支援システム「インテリジェントドライブ」

新型Eクラスには、次期Sクラスに搭載予定の次世代システムの多くを先駆けて採用しています。安全運転支援システム「レーダーセーフティパッケージ」のさらなる進化に加え、ドライバーを支援するさまざまな機能装備を組み合わせることで、安全性と快適性を高次元で融合しました。メルセデス・ベンツではこれらのドライバー支援システムを総称して「インテリジェントドライブ」と呼んでいます。

進化した安全運転支援システム「レーダーセーフティパッケージ」

メルセデスの安全運転支援システム「レーダーセーフティパッケージ」に新たな機能が追加され、安全性と快適性を大幅に高めています。

今回新たにフロントウィンドウ内側に画角 45°に配置されたステレオマルチパーパスカメラにより大きな躍進を遂げ、前方約 50m までの路面を 3 次元映像データとして立体的に捉えることができるようになりました。この映像を高度なアルゴリズムによって分析することで、先行車両や対向車両、横切る車両、歩行者などを検出し、自社との距離や運動のタイプによって分類します。さらに、リアバンパーに設置されたマルチモードレーダーセンサーにより、車両後方の安全性も向上しています。

- **ディストロニック・プラス(ステアリングアシスト付)**: 77GHz(長距離)および25GHz(短距離)の2種類のレーダーセンサーによって先行車を認識して速度に応じた車間距離を維持し、減速が必要な場合はスロットルおよびブレーキを段階的に自動調整してスムーズに減速し、先行車が停止した場合は自社も停止するディストロニック・プラスに、レーダーセンサーとステレオマルチパーパスカメラ

ラが車線のカーブと先行車両をモニターすることでステアリング操作のアシスト Page 11
を行う機能が追加され、先行車両への追従がより容易になりました。

- **BAS プラス(飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス)**: 短距離/長距離の 2 種類のレーダーセンサーとステレオマルチパーパスカメラが、先行車だけでなく前方を横切る車両や合流してくる車両、歩行者や道路上の物体との衝突の危険性を検知した場合、ディスプレイと音で警告します。ドライバーがブレーキを踏むと、BAS プラスが衝突を回避するための強力な制動力を発揮できるようにブレーキ圧を高めます。飛び出し検知機能は時速 72km/h 以下で作動します。
- **PRE-SAFE®ブレーキ(歩行者検知機能付)**: BAS プラス(飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス)の警告にドライバーが反応しない場合、軽いブレーキングでドライバーを警告し、衝突回避をサポートします。同時に衝突時に乗員の最適な姿勢を可能な限り確保する PRE-SAFE®機能も作動します。それでもドライバーが反応しない場合、最大のブレーキ力で自動緊急ブレーキが作動します。なお、時速 50km/h 以下の場合には警告ブレーキのみで衝突を回避するのに十分な制動力が得られます。今回、先行車に加え歩行者も検知することが可能となり、衝突予防安全性が大幅に向上しました。
- **リア CPA(被害軽減ブレーキ付後方衝突警告システム)**: リアバンパーに設置されたマルチモードミリ波レーダーが後方の車両を監視し、車間距離と接近速度から衝突の危険があると判断すると、リアコンビネーションランプを素早く点滅させて後続車のドライバーに警告します。それでも後続車が十分に減速しない際には自動的にブレーキ圧を高めて自車をロックし、玉突き衝突の回避など二次被害の軽減をサポートします。
- **アクティブブラインドスポットアシスト**: 車両の斜め後ろのドアミラーの死角範囲をリアバンパー左右の短距離レーダーセンサーでモニターし、ドアミラー内蔵のインジケーターが赤く点灯して警告を行います。警告の最中にウインカーを作動させると警告音とともにインジケーターが点滅し、さらに側面衝突の危険を検知すると、片側車輪に対して補正ブレーキが作動してコース修正を試みます。
- **アクティブレーンキーピングアシスト**: ステレオマルチパーパスカメラが車線を検出し、フロントホイールが走行車線を越えたと判断するとステアリングを断続的に振動させてドライバーに警告します。ドライバーが反応しない場合は自動補正ブレーキによって車両を車線内に復帰させます。

ドライバーを支援するその他のシステム

- **アダプティブハイビームアシスト・プラス**: ステレオマルチパーパスカメラが前方の状況をモニターし、対向車や先行車など他の車両にハイビームが当たらないように自動的に照射範囲を制御しつつ、常に最大限の視界を確保します。
- **アクティブパーキングアシスト**: パークトロンニックの超音波センサーを用いた拡張機能で、縦列駐車および並列駐車の際に駐車可能なスペースを検知し、駐車を開始するとステアリングおよびブレーキが自動制御され、ドライバーはアクセルとシフト操作のみで駐車が可能です。駐車スペースから出る際も同様にステアリングとブレーキ操作がアシストされます。
- **360°カメラシステム***: フロントグリル、左右ドアミラー、リアエンドに備えられた4つの広角・高解像度カメラによる映像を合成処理し、車両の周囲全体をバードビュー(俯瞰)で COMAND ディスプレイに表示します。車両の前後約 3m の範囲のモニターが可能で、フロントカメラおよびリアカメラの映像はフルスクリーンモードで 180° の広範囲をカバーするほか、各カメラの映像を 2 画面に組み合わせた 8 種類の表示が可能です。*全車にオプション装備

AMG

0-100km/h加速3.6秒[†]を誇る世界最速セダン「E 63 AMG S 4MATIC」をはじめ、新開発のパフォーマンス志向四輪駆動システムを搭載した「AMG 4MATIC」、従来のAMGパフォーマンスパッケージを超える究極の動力性能を実現した「AMG S-Model」と、AMGモデルのラインナップを大幅に拡充しました。*欧州参考値

最新鋭 5.5 リッターV型 8 気筒直噴ツインターボエンジン

メルセデス AMG 社開発による最新鋭 M157 型 5.5 リッターV型 8 気筒直噴ツインターボエンジンは、最高出力 410kW/557PS、最大トルク 760Nm の圧倒的なパフォーマンスを実現しています。また ECO スタートストップ機能(アイドリングストップ機能)や最新の電子制御7速オートマチックトランスミッション「AMG スピードシフト MCT」との組み合わせにより優れた環境適合性を実現しています。*数値は全て欧州参考値

さらに、「E 63 AMG S(セダン)」および「E 63 AMG S 4 MATIC(セダン/ステーションワゴン)」は、専用チューニングを施すことで、最高出力 585PS/430kW(ベースモデル比

+28PS/+20kW)、最大トルク 800Nm(ベースモデル比+80Nm)という究極のパフォーマンスを発揮します。この動力性能の強化は、エンジン用プログラムの調整と最高圧力の引き揚げ、過給圧の 0.9 バールから 1.0 バールへの引き上げによって実現しました。*数値は全て欧州参考値

AMG スピードシフト MCT

「AMG スピードシフト MCT」は、トルクコンバーターに代わり湿式多版クラッチを採用し、マニュアルトランスミッションのようなダイレクト感とスピーディなシフトチェンジを実現しました。燃費を重視した“C”モード、スポーティーな“S”モード、シフトタイムがさらに短縮される“S+”モード、ステアリングのパドルによるマニュアルシフトが行える“M”モードの 4 つのシフトプログラムモードを任意に選択できます。“S”、“S+”、“M”モードでは、シフトダウン時に電子制御でダブルクラッチ操作を行うブリッピング機能を備えています。

新開発のパフォーマンス志向四輪駆動機構「AMG 4MATIC」

「E 63 AMG 4MATIC(セダン/ステーションワゴン)」および「E 63 AMG S 4MATIC(セダン/ステーションワゴン)」に採用された「AMG 4MATIC」は、前後トルク配分 33:67 と、リア寄りの設定と低めに設定されたロッキングトルクにより、AMG ならではのニュートラルなハンドリング特性を実現しています。専用チューニングを施した 3 ステージ ESP[®]は、四輪駆動特有のアンダーステアを検知するとトルクベクトリングブレーキ機能により各輪のブレーキ制御を行い、瞬時にアンダーステアを打ち消すヨーモーメントを加えます。

エクステリア

AMG の“A”の文字を象った「A ウィング」と呼ばれるデザインのフロントスポイラーは、大開口のエアインテークとシルバークロームのスプリッター、ブラックペイントのフリックを備え、存在感を高めています。また、フロントフェンダーはノーマルモデルに比べ片側約 17mm 拡大されています。リアには、ハイグロスブラックのアップトリムと 3 本のフィンを備えたディフューザー、デュアルツインクロームのエグゾーストエンドによりボディのワイド感を強調しています。

インテリア

センターコンソール、ドアセンターパネル、ドアアームレストなどにふんだんにナッパレザーを採用、IWC 製アナログクロックをセンターコンソールの中央に配したほか、専用デザインの AMG スポーツシートや上下をフラットデザインとした AMG パフォーマンスステアリングホイールなど、ドライビングマインドを刺激するコックピットに仕上げられています。